

古河スカイ インベスターズガイド 2012

INVESTORS' GUIDE 2012

For The Year Ended March 31, 2012





代表取締役社長 岡田 満

Profile

1956年(昭和31年)兵庫県生まれ。京都大学大学院工学研究科修了後、1982年に古河電気工業に入社。2008年に当社福井工場長に就任し、同年に取締役昇進。2010年より常務取締役を務め、2012年6月に代表取締役社長就任。研究から生産技術、生産管理、さらには海外工場の立ち上げまで幅広い経験を持つ。

中期経営計画を通じて築き上げた 強固な経営基盤のもと、 グローバルな視点でさらなる飛躍を図ります。

日頃より当社をご支援いただき、ありがとうございます。全従業員を代表して、心より御礼申し上げます。2012年6月の定時株主総会をもって、新たに代表取締役社長に就任いたしました。

当社にとって非常に厳しい環境下での就任に、身が引き締まる思いですが、業容拡大と事業基盤の強化に向けて、率先して取り組んでいく所存です。

当社は現在、2010年度からスタートした「2012中期経営計画」を推進しています。この計画では、2012年度までの3ヶ年を、新たな飛躍への第一歩を踏み出す期間として位置付けています。最終年度にあたる2012年度も、本計画の掲げる3つの基本方針に則り、着実な取り組みを続けていきます。

基本方針の1つめは、「国内事業において既存事業の構造改革を推進し、事業基盤の強化を図ること」です。

具体的には、日光工場の上流工程を移管し、福井工場と深谷工場(埼玉県)の最適な生産体制を構築します。特に福井工場は、先の震災によるエネルギー不安を受けて今後の需要拡大が見込まれるLNG船向け厚板の国内で唯一の供給元として、生産体制を整備して供給責任を果たしていく所存です。

基本方針の2つめは、「海外事業において、成長する市場に的確に対応すること」です。

例えば東南アジアや中国では、自動車・電子部品などの需要拡大に対応するため、製造・販売ネットワークを拡充しています。2011年度にはタイでアルミニウム板圧延品の一貫生産を担う新工場の建設に着手したほか、中国にアルミニウム加工製品の製造・販売会社を設立、ベトナムでもコンプレッサホイールの生産設備を増強するなど、「アジアNo.1の魅力あるカンパニー」に向けて、着実に前進しています。

北米でも当社グループ初となる生産拠点を獲得し、北米および中南米市場のアルミ缶材需要に応えていきます。

さらに、2012年6月に営業本部内に海外営業統括部を新設し、グローバル市場での販売力強化を推進していきます。

そして3つめの基本方針が、「新製品開発として、成長製品や次世代製品への事業対応を進めること」です。具体的には、電池関連、電気自動車(EV)や太陽光発電など、今後の成長が見込まれる事業分野に重点的に取り組みます。

中期経営計画がスタートして以降、当社を取り巻く経営環境は、東日本大震災やタイ洪水の影響に加え、燃料価格や電力単価の上昇など、厳しい状況が続いています。その一方で、2012年度は、アジアを中心とした自動車関連需要の拡大や、LNG船向け厚板の需要増などのプラス要因もありますので、これらを着実に取り込みながら、中長期的な視点で事業基盤を強化していきます。

なお、当社は2012年8月、「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャー会社」となることを目指し、住友軽金属工業株式会社との経営統合に合意したことを発表しました。今後、国内外の関係当局からの承認が得られれば、2013年10月に世界3位グループに入る規模のアルミニウム圧延メーカーが誕生することになります。

中期経営計画の推進を通じて築き上げた強固な経営基盤をベースとして、統合によってさらなる飛躍を目指す当社に、今後ともよろしくご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 岡田 満

アルミニウムの性能を最大限に引き出す 板、押出、鋳物、鍛造、加工製品を、幅広い用途に提供 しています。



飲料缶に



航空機に



自動車に



新幹線に



船舶に



医薬品包装に



デジタル家電・PCに



古河スカイは、アルミニウム板圧延品から押出品や鋳物・鍛造品およびそれらの加工品に至るまで、幅広い製品ラインナップを有するアルミニウム総合メーカーです。とくに主力のアルミニウム板圧延品では、国内市場で約30%とトップシェア、世界でもトップクラスにランクされる生産能力を誇っています。

世界のアルミニウム市場が拡大するなか、古河スカイは、「缶材」や「箔地」などの大口商品から、LNG船タンクや航空機用の「厚板」、ハードディスクドライブやサーバ、リチウムイオン電池用の「各種エレクトロニクス材料」など、幅広い市場ニーズに応える、高機能・高品質な製品を開発・提供しています。

経営理念

私たち古河スカイは、社会と地球環境に優しいアルミニウムを通じて、以下の経営理念を掲げ、事業活動を推進します。

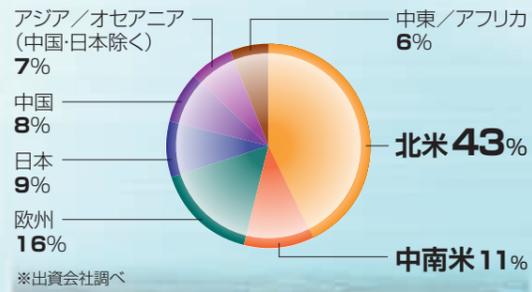
1. お客様に満足いただける製品・サービスを開発・提供し、企業価値を高めるとともに、社会の発展に寄与します。
2. 良き企業市民として、持続可能な社会の構築に取り組みます。
3. 働く人を大切に、ゆとりと豊かさを実現します。
4. 倫理に基づき行動し、法令を遵守し、徳のある企業を目指します。

米国

世界のアルミニウム缶市場の4割を占める米国で、世界最大規模の製造拠点を確保

当社は2011年8月、国内4社との共同出資(当社出資比率35%)により、米国で世界最大級のアルミニウム板圧延製造販売会社を買収しました。米国は世界のアルミニウム缶需要の4割強を占める市場であり、今後もさらなる拡大が見込まれています。当該工場は、世界でも最小のコストで同市場の旺盛な需要に応えるだけの供給力を有しています。

世界のアルミニウム缶材需要シェア



タイ

顧客の現地調達ニーズに応える、日本アルミニウム業界初の海外板圧延一貫生産工場をタイに建設

当社は成長・拡大するアジア市場でのアルミニウム板材需要の高まりに応えるべく、2011年11月、タイ国ラヨン県への新工場の建設決定を発表。日光工場の冷間圧延機などを移設して、2014年1月の生産開始を目指しています。新工場は溶解から鋳造、圧延、仕上げまでを担う、国内アルミニウム圧延会社では初となる海外での板圧延一貫生産工場として、需要が高まるアジア地域の顧客ニーズに対応します。



中国

中国やアジアで高まるアルミニウム需要に対応し、中国・無錫に加工会社を設立

2011年12月、当社は子会社のニッケイ加工と共同で、中国・無錫にアルミニウム加工製品の製造・販売会社を設立しました。中国での都市開発ラッシュにともなって高まっている重電制御機器用インバータや鉄道車両向け熱交換器用アルミニウム加工製品の需要に対応するとともに、アジア全域に向けて自動車向け熱関連部品を供給していきます。

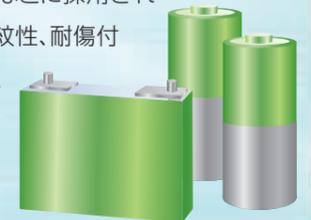


日本

リチウムイオン二次電池やサーバなどアルミニウムの新市場を開拓

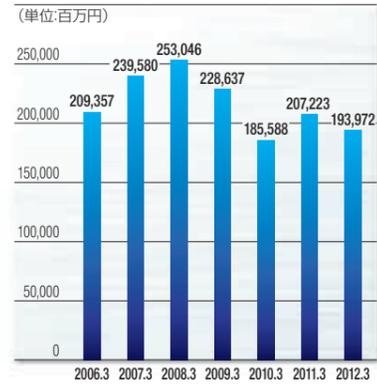
2012年2月、携帯電話やパソコン、電気自動車など、幅広い分野で需要が拡大するリチウムイオン二次電池の集電体として「ファスポーラス」を開発しました。ファスポーラスは従来のアルミ箔集電体に比べて単位当たりの容量を大きくすることができ、電池の高容量化に貢献します。

また、当社の高導電性アルミニウム塗装材「ファスコート」がサーバ筐体などに採用されました。成形性や耐指紋性、耐傷付き性、耐食性にも優れることから、さらなる用途拡大を目指します。

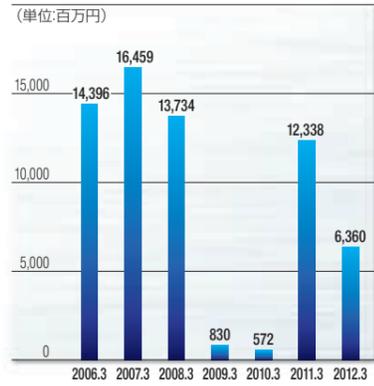


業績・収益率の推移

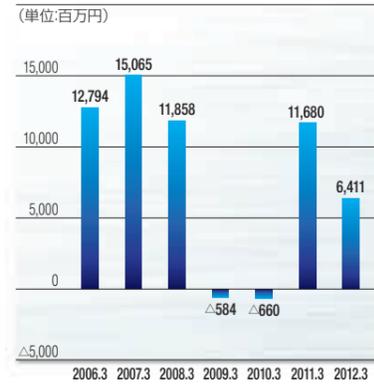
売上高



営業利益

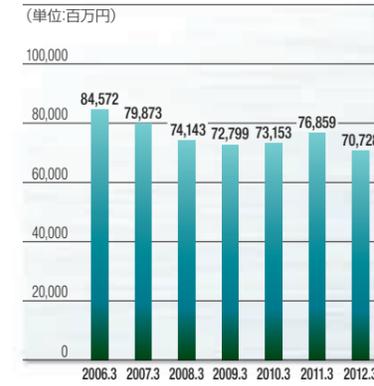


経常利益又は経常損失

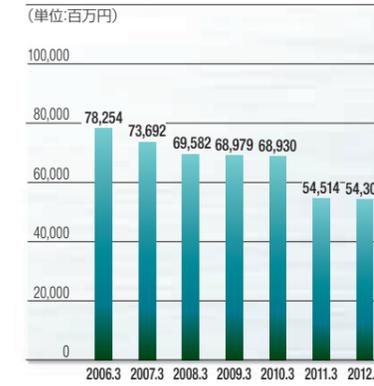


財政状態・効率性の推移

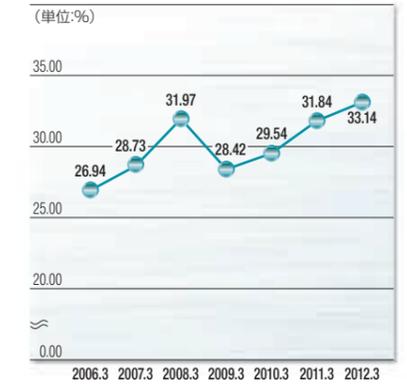
有利子負債



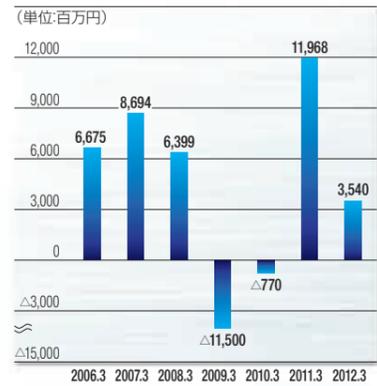
ネット有利子負債



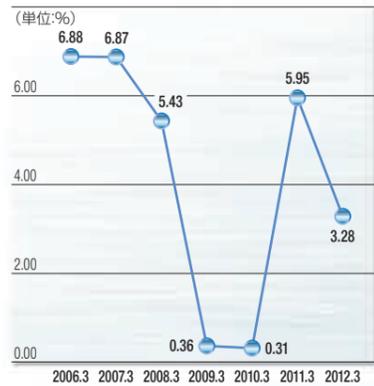
自己資本比率



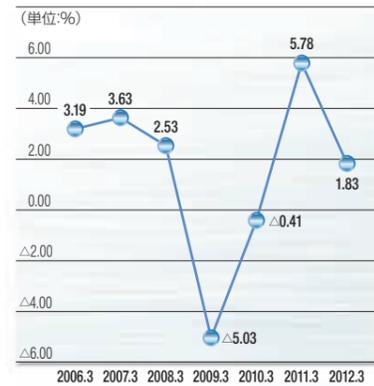
当期純利益又は当期純損失



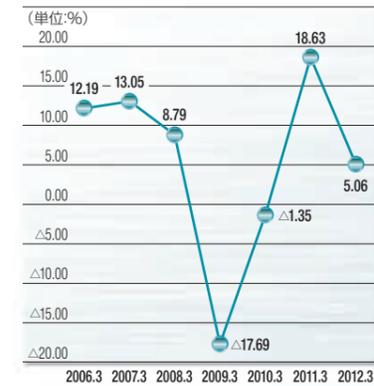
売上高営業利益率



売上高当期純利益率



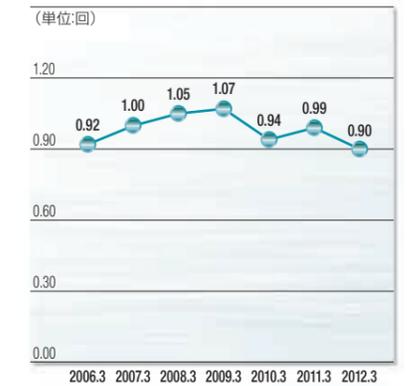
自己資本当期純利益率(ROE)



総資産当期純利益率(ROA)

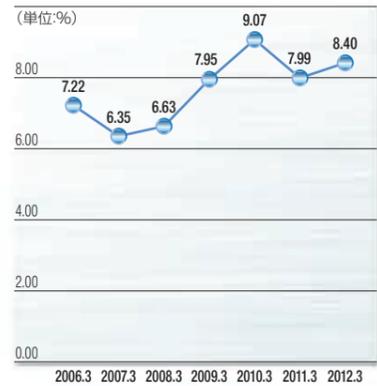


総資産回転率

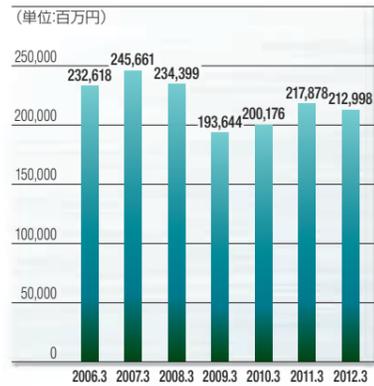


財政状態・効率性の推移

販売費及び一般管理費率



総資産

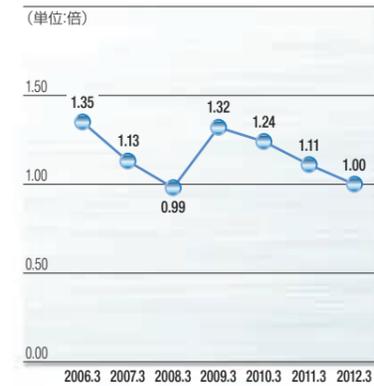


純資産

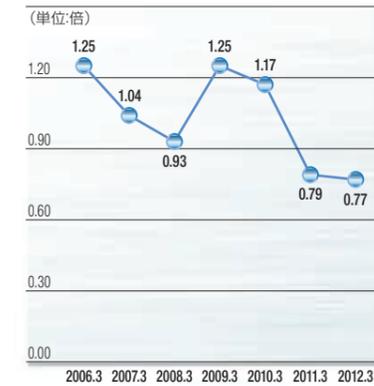


流動性指標

D/Eレシオ

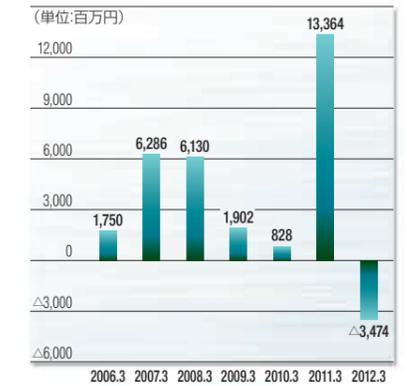


ネットD/Eレシオ



キャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フロー

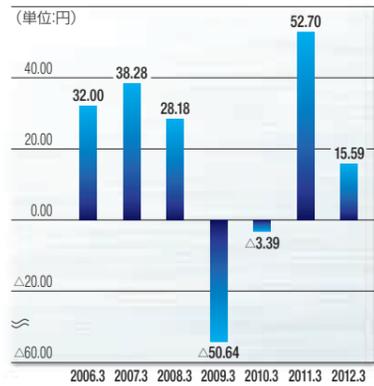


1株当たり指標

1株当たり純資産



1株当たり当期純利益又は当期純損失



1株当たり配当額

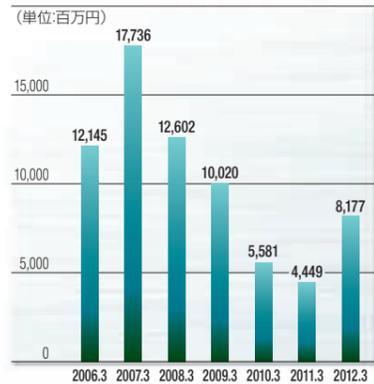


その他データ

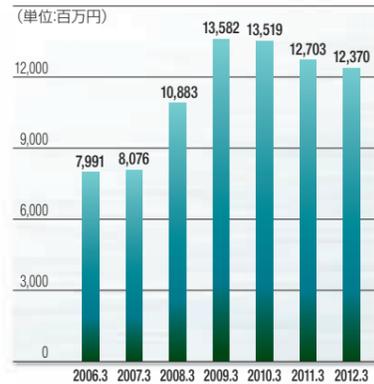
研究開発費



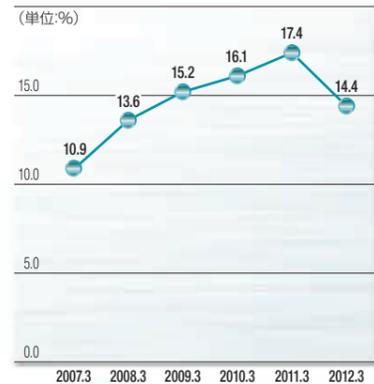
設備投資額



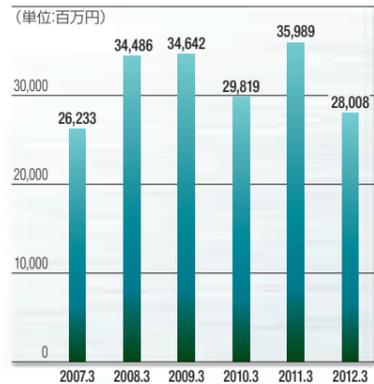
減価償却費



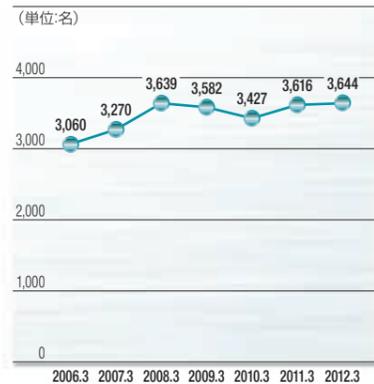
海外比率推移 (海外売上高/ 連結売上高)



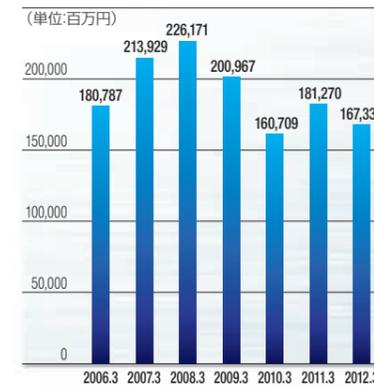
海外売上高



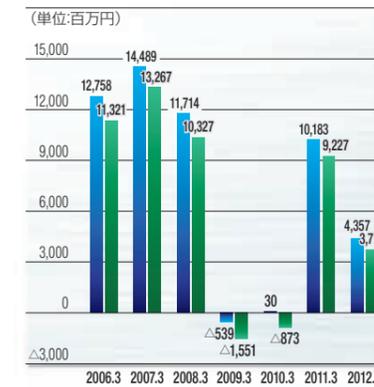
従業員数の推移



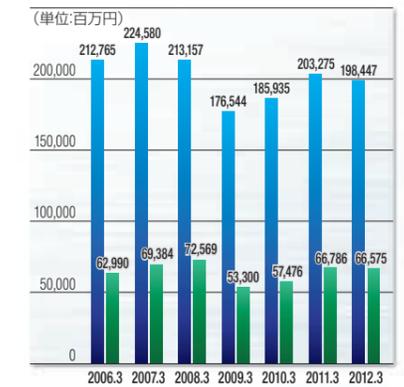
売上高



営業利益又は営業損失
経常利益又は経常損失



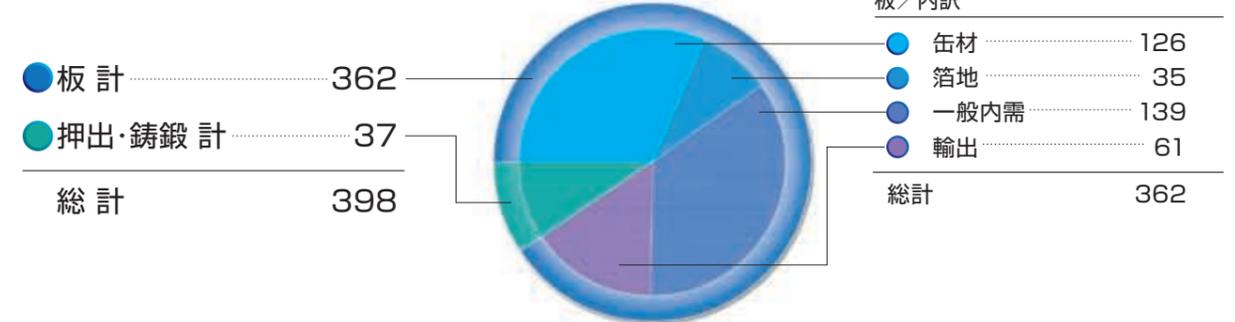
総資産
純資産



品種別売上数量 (単位:千トン)

	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3
板計	380	397	396	370	355	395	362
缶材	131	129	122	112	113	127	126
箔地	41	43	39	36	33	36	35
一般内需	191	208	176	165	140	151	139
輸出	17	17	59	57	69	81	61
押出・鋳鍛計	47	47	46	36	33	40	37
総計	427	444	442	407	388	435	398

2012年3月期品種別売上数量構成 (単位:千トン)



連結貸借対照表 (単位:百万円)

	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3
資産の部							
流動資産	114,583	118,212	107,400	79,533	89,239	112,782	102,670
現金及び預金	6,311	6,176	4,556	3,555	4,201	4,747	7,619
受取手形及び売掛金	61,070	65,529	57,282	40,133	58,262	58,159	57,054
たな卸資産	31,138	31,503	33,905	27,224	20,975	25,214	22,385
前渡金	6,172	3,689	6	6	0	—	—
未収入金	8,258	8,564	8,785	5,254	4,104	5,222	4,906
繰延税金資産	1,310	1,079	486	298	1,459	1,366	1,452
その他	395	1,766	2,498	3,205	366	18,191	9,363
貸倒引当金	△71	△94	△117	△142	△128	△117	△109
固定資産	118,036	127,449	126,999	114,110	110,938	105,096	110,328
有形固定資産	104,639	113,952	114,665	106,708	97,828	89,417	85,766
建物及び構築物	23,282	22,581	24,881	24,767	22,902	21,494	20,541
機械装置及び運搬具	34,718	37,080	44,882	39,776	34,517	28,012	24,361
土地	39,925	40,010	39,287	37,170	36,634	36,393	36,332
建設仮勘定	4,208	11,683	2,428	1,836	946	1,119	2,230
その他	2,505	2,598	3,187	3,159	2,829	2,398	2,302
無形固定資産	2,086	2,061	1,782	1,937	2,409	1,890	1,574
のれん	165	111	57	2	835	640	445
ソフトウェア	1,833	1,855	1,630	1,847	1,470	1,145	1,024
その他	88	95	96	88	104	105	105
投資その他の資産	11,311	11,437	10,551	5,466	10,701	13,789	22,987
投資有価証券	3,519	3,426	2,312	3,815	4,385	4,777	14,851
長期前払費用	352	390	380	287	223	246	177
繰延税金資産	6,274	6,602	6,798	278	1,697	4,538	3,564
その他	1,487	1,265	1,334	1,416	4,441	4,406	4,412
貸倒引当金	△320	△246	△273	△330	△45	△179	△16
資産合計	232,618	245,661	234,399	193,644	200,176	217,878	212,998

	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3
負債の部							
流動負債	108,088	112,666	106,800	84,535	85,699	88,169	91,261
支払手形及び買掛金、電子記録債務	43,102	48,641	45,479	27,792	37,916	41,968	40,749
短期借入金	30,674	29,354	28,094	28,101	28,001	27,375	23,334
1年内償還予定の社債	276	263	160	155	240	270	182
1年内返済予定の長期借入金	11,235	7,536	13,136	7,111	4,559	3,219	8,791
未払金	8,361	13,622	8,818	7,542	5,567	4,934	8,208
未払費用	9,307	8,943	8,619	7,649	8,320	8,085	8,453
未払法人税等	3,961	3,609	1,685	63	572	1,196	504
未払消費税等	201	59	462	661	129	493	141
繰延税金負債	—	—	—	1	—	—	—
その他	972	640	347	5,459	394	628	898
固定負債	59,155	59,799	49,847	52,419	54,861	59,802	50,559
社債	388	395	235	305	290	186	247
長期借入金	41,999	42,325	32,518	37,126	40,063	45,808	38,173
退職給付引当金	15,191	15,512	15,473	13,573	12,169	10,948	9,540
役員退職慰労引当金	384	163	186	145	168	129	128
繰延税金負債	97	48	115	126	69	50	41
環境対策引当金	579	646	370	176	207	198	172
事業構造改善引当金	—	—	—	—	755	755	732
その他	517	710	950	967	1,140	1,728	1,525
負債合計	167,244	172,465	156,647	136,954	140,560	147,971	141,819
少数株主持分							
少数株主持分	2,710	—	—	—	—	—	—
資本の部							
資本金	16,528	—	—	—	—	—	—
資本剰余金	35,184	—	—	—	—	—	—
利益剰余金	10,378	—	—	—	—	—	—
その他有価証券評価差額金	503	—	—	—	—	—	—
為替換算調整勘定	72	—	—	—	—	—	—
自己株式	△0	—	—	—	—	—	—
資本合計	62,665	—	—	—	—	—	—
負債、少数株主持分及び資本合計	232,618	—	—	—	—	—	—
純資産の部							
株主資本	—	69,122	73,705	60,388	59,162	69,995	71,978
資本金	—	16,528	16,528	16,528	16,528	16,528	16,528
資本剰余金	—	35,184	35,184	35,184	35,184	35,184	35,184
利益剰余金	—	17,410	21,993	8,676	7,452	18,284	20,267
自己株式	—	△1	△1	△1	△2	△2	△2
評価・換算差額等(その他包括利益累計額)	—	1,466	1,240	△5,352	△31	△633	△1,394
その他有価証券評価差額金	—	474	△99	△30	169	193	180
繰延ヘッジ損益	—	855	1,257	△4,915	47	157	△423
為替換算調整勘定	—	136	81	△407	△247	△982	△1,151
少数株主持分	—	2,609	2,808	1,654	486	546	596
純資産合計	—	73,197	77,753	56,690	59,617	69,907	71,179
負債及び純資産合計	—	245,661	234,399	193,644	200,176	217,878	212,998

連結損益計算書 (単位:百万円)

	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3
売上高	209,357	239,580	253,046	228,637	185,588	207,223	193,972
売上原価	179,854	207,913	222,541	209,638	168,182	178,318	171,318
売上総利益	29,502	31,666	30,505	18,999	17,406	28,905	22,654
販売費及び一般管理費	15,106	15,207	16,771	18,169	16,834	16,566	16,294
営業利益	14,396	16,459	13,734	830	572	12,338	6,360
営業外収益	417	452	510	643	445	807	1,352
営業外費用	2,019	1,847	2,387	2,057	1,677	1,466	1,301
経常利益又は経常損失(△)	12,794	15,065	11,858	△584	△660	11,680	6,411
特別利益	1,775	126	756	420	81	78	159
特別損失	2,866	692	1,439	4,524	2,494	1,260	442
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	11,703	14,498	11,175	△4,687	△3,072	10,498	6,128
法人税、住民税及び事業税	6,580	6,325	3,883	271	537	1,292	1,160
法人税等調整額	△1,646	△669	567	7,467	△2,783	△2,889	1,323
少数株主利益又は少数株主損失(△)	94	148	326	△925	△56	127	105
当期純利益又は当期純損失(△)	6,675	8,694	6,399	△11,500	△770	11,968	3,540

包括利益計算書 (単位:百万円)

	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3
少数株主損益調整前当期純利益	—	—	—	—	—	12,095	3,646
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△655	△784
その他有価証券評価差額金	—	—	—	—	—	23	△13
繰延ヘッジ損益	—	—	—	—	—	84	△487
為替換算調整勘定	—	—	—	—	—	△321	△208
持分法適用会社に対する持分相当額	—	—	—	—	—	△442	△76
包括利益	—	—	—	—	—	11,440	2,861
(内訳)							
親会社株主に係る包括利益	—	—	—	—	—	11,367	2,779
少数株主に係る包括利益	—	—	—	—	—	74	82

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

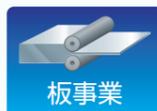
	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3
営業活動によるキャッシュ・フロー							
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	11,703	14,498	11,175	△4,687	△3,072	10,498	6,128
減価償却費	7,991	8,076	10,883	13,582	13,519	12,703	12,370
減損損失	438	—	667	3,187	3	226	76
持分法による投資損失	1	—	—	—	—	—	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	—	—	—	—	710	—
事業構造改善費用	—	—	—	—	2,018	—	—
受取利息及び受取配当金	△66	△61	△88	△73	△53	△43	△111
支払利息	1,394	1,359	1,508	1,374	1,238	1,140	1,091
為替差損益(△は益)	△11	△1	22	△83	△64	9	△31
有形固定資産売却損	671	240	631	503	199	99	138
投資有価証券評価損益(△は益)	0	49	22	713	11	16	179
売上債権の増減額(△は増加)	△1,162	△4,666	8,308	16,747	△18,082	△298	1,033
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,443	△458	△2,423	6,563	6,256	△4,355	2,833
仕入債務の増減額(△は減少)	1,686	8,958	△4,291	△17,480	10,110	4,160	△1,239
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,502	342	△39	△1,899	△1,405	△1,221	△1,407
未払費用の増減額(△は減少)	△4,219	△364	△329	△1,148	671	△223	422
その他	△3,608	4,449	2,747	1,907	1,345	△1,170	△1,248
小計	14,877	32,422	28,791	19,206	12,695	22,250	20,233
利息及び配当金の受取額	66	61	88	70	115	42	215
利息の支払額	△1,452	△1,359	△1,502	△1,377	△1,242	△1,139	△1,087
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,429	△6,677	△5,546	△3,607	1,769	△720	△1,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,062	24,447	21,832	14,293	13,337	20,434	17,609
投資活動によるキャッシュ・フロー							
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	1	1	△249	—	△2,000	△2,500
有形固定資産の取得による支出	△6,292	△17,371	△16,048	△9,232	△6,865	△4,635	△4,872
無形固定資産の取得による支出	△441	△714	△323	△840	△298	△139	△328
投資有価証券の取得による支出	△19	△81	△136	△2,280	△108	△11	△10,415
投資有価証券等の売却による収入	2,351	—	—	25	16	—	—
子会社株式の取得による支出	—	—	—	—	△2,180	△328	△2,623
関係会社出資金の払込による支出	—	—	—	—	△3,544	△93	△189
その他	90	5	804	185	470	137	△157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,312	△18,161	△15,702	△12,391	△12,509	△7,070	△21,083
財務活動によるキャッシュ・フロー							
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,661	△1,322	△1,246	248	△112	△536	△4,038
長期借入れによる収入	3,900	8,108	14,409	11,821	7,590	9,120	1,250
長期借入金の返済による支出	△10,679	△11,474	△18,594	△13,057	△7,212	△4,651	△3,294
社債の発行による収入	450	305	—	250	270	200	270
社債の償還による支出	△196	△306	△263	△185	△200	△274	△297
株式発行による収入	12,992	—	—	—	—	—	—
配当金の支払額	△3,724	△1,658	△1,816	△1,817	△454	△1,135	△1,363
少数株主への配当金の支払額	△58	△54	△37	△46	△15	△14	△32
少数株主からの払込みによる収入	106	—	—	—	—	—	—
その他	1	0	16	△45	△57	△10	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,869	△6,400	△7,531	△2,831	△190	2,700	△7,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	44	△16	△72	7	△60	△29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△79	△70	△1,417	△1,001	646	16,005	△11,029
現金及び現金同等物の期首残高	6,032	5,953	5,883	4,466	3,465	4,111	20,115
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	—	—	—	—	—	2,253
現金及び現金同等物の期末残高	5,953	5,883	4,466	3,465	4,111	20,115	11,339

スピーディに、フレキシブルに。 充実の生産ネットワークのもとで 製品を安定供給しています。

古河スカイグループは、国内唯一の板圧延3工場体制を中核とする生産ネットワークを構築。このネットワークをベースに大口ロットから小ロットまで柔軟に対応し、高付加価値な製品を迅速かつ安定的にお届けしています。

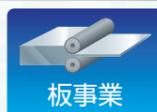
① 福井

概要 …………… 板製品の製造
主要生産品目 …… ●飲料用缶材
 (ボディ材、エンド材)、
 箔地
 ●LNG船、航空機向け
 大型板材
所在 …………… 福井県坂井市



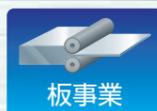
② 深谷

概要 …………… 板製品の製造
主要生産品目 …… ●印刷板、一般厚板
 ●自動車材、一般汎用材
所在 …………… 埼玉県深谷市



③ 日光

概要 …………… 板製品の製造
主要生産品目 …… ●自動車熱交換器用材
 ●メモリアイス材
所在 …………… 栃木県日光市



④ 小山

小山工場
概要 …………… 押出製品の製造
主要生産品目 …… ●自動車熱交換器用材
 ●感光ドラム材
所在 …………… 栃木県小山市



鑄鍛工場
概要 …………… 鑄物・鍛造製品の製造
主要生産品目 …… ●輸送分野向け鑄物製品
 ●電子分野向け鍛造製品
所在 …………… 栃木県小山市



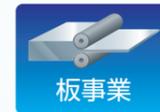
⑤ 古河スカイ滋賀(株)

概要 …………… 押出製品の製造
主要生産品目 …… ●自動車熱交換器用材
 ●感光ドラム材
所在 …………… 滋賀県近江八幡市



⑥ 日本製箔(株)

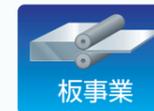
A 野木工場
概要 …………… 箔製品の加工
主要生産品目 …… ●一般箔(工業用、食品用)
所在 …………… 栃木県野木町



B 滋賀工場
概要 …………… 箔製品の加工
主要生産品目 …… ●加工箔(薬品用、食品用)
 ●コンデンサ箔
所在 …………… 滋賀県草津市

⑦ 古河カラーアルミ(株)

概要 …………… 板製品の塗装加工
所在 …………… 栃木県宇都宮市



板製品



押出製品



鍛造製品



鑄物製品

世界各地で製品を提供できる グローバルな供給体制を確立しています。

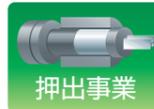
新興国の著しい成長をはじめとするグローバルマーケットの動きを見据えた海外ネットワークを展開しています。アジアに加えて欧米にも拠点を設け、国・地域ごとのニーズに応えています。

生産拠点

Asia

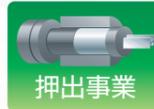
① 古河(天津)精密鋁業有限公司 (FSAT)

概要…………自動車熱交換器用押出材の製造・販売
所在…………中国 天津市
資本金…………81,276千元
出資比率…………古河スカイ100%



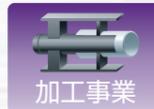
② PT. Furukawa Indal Aluminum (FIA)

概要…………自動車熱交換器用押出材の製造・販売
所在…………インドネシア スラバヤ近郊 グレシク市
資本金…………6百万USD
出資比率…………古河スカイ55%、Indal40%、豊田通商5%



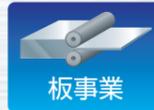
③ 古河ス凱(無錫)鋁材加工有限公司 (FSWA)

概要…………アルミニウム加工製品の製造・販売
所在…………中国 江蘇省無錫市
資本金…………24,107千元
出資比率…………古河スカイ66.7%、ニッケイ加工33.3%



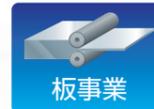
④ 乳源東陽光精箔有限公司

概要…………アルミニウム圧延製品の製造・販売
所在…………中国 広東省韶関市
資本金…………746,500千元
出資比率…………古河スカイ25%、三井物産20%、広東東陽光鋁業股份有限公司55%



⑤ Furukawa-Sky Aluminum (THAILAND) Co., Ltd.(FSTH)

概要…………アルミニウム板圧延製品の加工・販売
所在…………タイ アユタヤ県
資本金…………12億1千万バーツ
出資比率…………古河スカイ100%



⑥ Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc. (FSV)

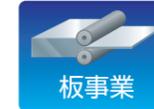
概要…………ターボチャージャー用コンプレッサホイール製造
所在…………ベトナム ホーチミン市
資本金…………6百万USD
出資比率…………古河スカイ100%



Europe

⑦ Bridgnorth Aluminium Ltd. (BAL)

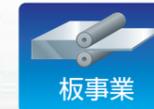
概要…………印刷板・箔用材の製造・販売
所在…………イギリス シュロプシャー州
資本金…………29,333千ポンド
出資比率…………古河スカイ25%、エルバルS.A.75%



North America

⑧ Tri-Arrows Aluminum Inc. (TAA)

概要…………飲料用缶材の製造・販売
所在…………アメリカ ケンタッキー州
資本金…………357百万USD
出資比率…………古河スカイ35%、住友軽金属40%、住友商事20%、伊藤忠メタルズ3%、伊藤忠商事2%



営業販売拠点・他

⑨ 古河ス凱(上海)鋁材有限公司 (FSSH)

概要…………アルミニウム圧延製品の販売
所在…………中国 上海市
資本金…………7,363千元
出資比率…………古河スカイ100%

⑩ AFSEL S.A.

概要…………自動車熱交換器用板材の販売
所在…………ギリシア アテネ市
資本金…………18万ユーロ
出資比率…………古河スカイ50%、エルバルS.A.50%

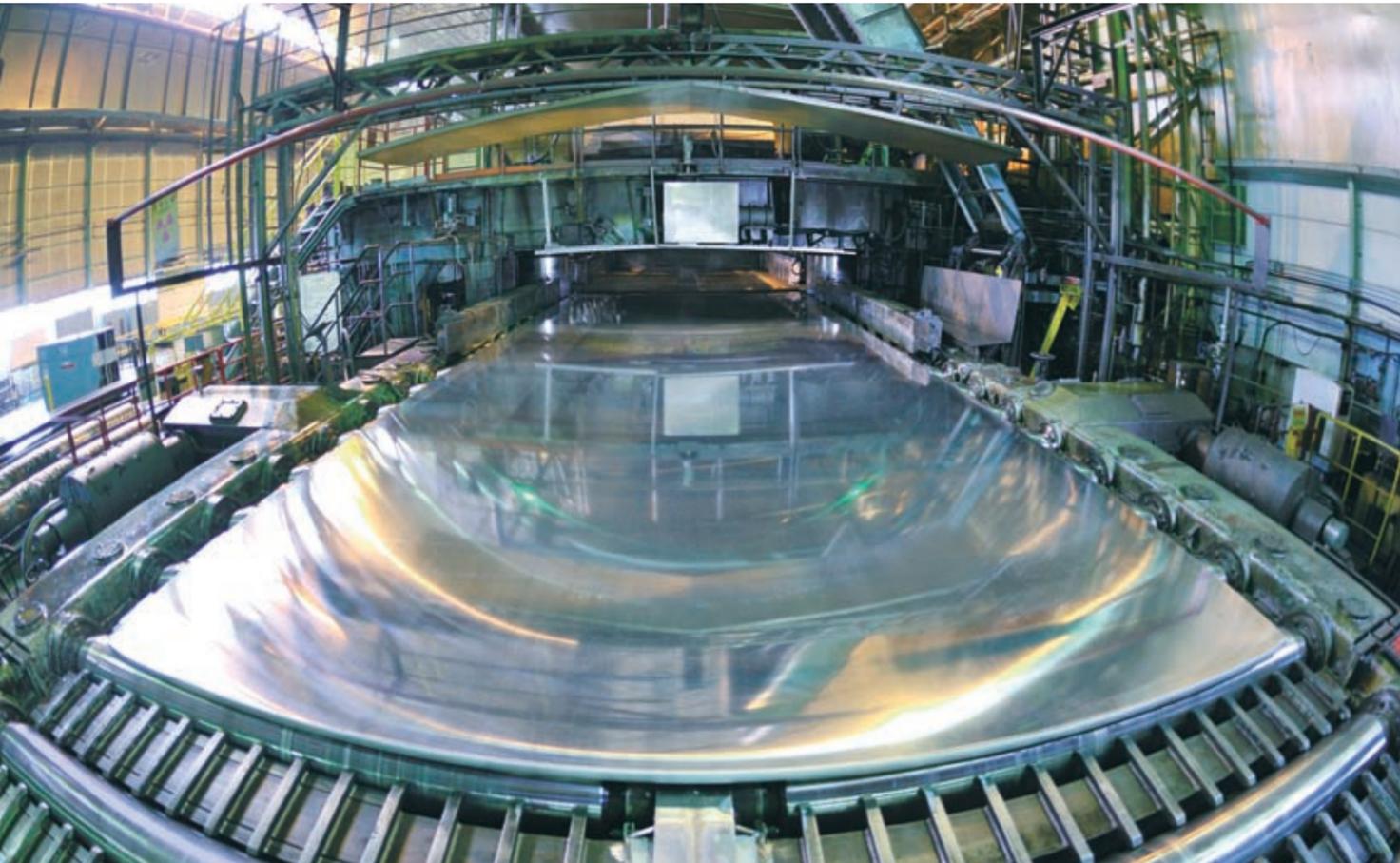
⑪ Furukawa-Sky Aluminum Corp. European Office

概要…………欧州地区アルミニウムマーケットの情報収集・発信
所在…………ドイツ デュッセルドルフ



世界トップクラスの生産技術で、 高品質な製品を創造しています。

世界最大級の製造設備を備え板製品から押出製品、鋳物・鍛造製品、
表面処理製品、加工製品に至るまで幅広いアルミニウム製品をラインナップ。
厳しい品質管理体制のもと、高品質な製品群を供給しています。



世界最大級の熱間圧延ラインで生み出す 高品質な板製品

全長400メートル、幅4.3メートルにおよぶ世界最大級の大型圧延機で、板厚を自動で制御するAGCシステムによって高度かつ高品質な圧延を実現しています。ここで製造された厚板製品は、広幅のLNG船タンク材や航空・宇宙機材に採用されています。

AS9100を取得

当社の福井工場は航空宇宙品質マネジメントシステムの国際統一規格認証である「AS9100」を取得しており、品質要求の厳しい日本海事協会や航空機メーカーから認定工場に指定されています。

大型鍛造製品のニーズに応える 国内最大級鍛造プレス機

小山工場では、15,000トンの大型鍛造プレス機をはじめとする国内トップレベルの生産体制で、航空機用、液晶・半導体製造装置の部材などに欠かせない大型アルミニウム鍛造製品をつくり出しています。



幅広い産業分野で活躍する押出製品を 高度な設計技術で実現

1990年代から数値解析を用いた押出ダイス設計技術開発に取り組み、この技術を利用した複写機ドラム、自動車熱交換器用MFチューブ、クラッドチューブ、携帯端末用筐体などの精密押出形材は、電機、電子、自動車などの分野で活躍しています。

世界シェア1位のコンプレッサホイールを 支える精密鋳造技術

1950年に鋳物製品の製造を開始し、1989年からは精密鋳造技術を採用。耐久性、バランス特性(高速回転安定性)に優れたコンプレッサホイールは、日本とベトナムを製造拠点として欧州市場を中心に供給され、世界シェア1位を誇っています。



研究開発

アルミニウムの豊富な知見を融合し、新たなイノベーションの創出を目指します。

アルミニウムの新たな価値と可能性を追求するために、古河スカイは技術研究所と各工場の開発部門、そして国や大学など外部機関とも積極的に連携を図りながら次世代の製品や技術の開発を推進しています。

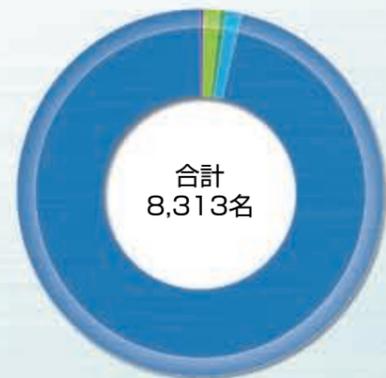


株式状況 (2012年3月31日現在)

	2010.3	2011.3	2012.3
発行済株式総数(自己株式を含む)	227,100,000 株	227,100,000 株	227,100,000 株
株主数	9,280 名	8,929 名	8,313 名

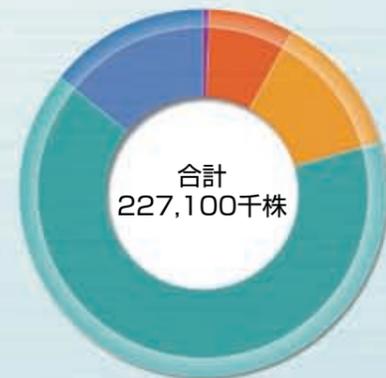
株式分布状況 (2012年3月31日現在)

所有者別の株主数



証券会社	40名	(0.48%)
外国法人等	118名	(1.42%)
金融機関	31名	(0.37%)
その他の国内法人	133名	(1.60%)
個人その他	7,991名	(96.13%)

所有者別の株式数



証券会社	1,340千株	(0.59%)
外国法人等	17,346千株	(7.64%)
金融機関	28,396千株	(12.50%)
その他の国内法人	148,068千株	(65.20%)
個人その他	31,950千株	(14.07%)

会社概要

名称	古河スカイ株式会社	資本金	165億2,840万円
所在地	〒101-8970 東京都千代田区外神田4丁目14番1号 秋葉原UDX12階 TEL: (03)5295-3800(代表) FAX: (03)5295-3760	社員数	3,644名(連結)、1,959名(単体)
設立	2003年10月	拠点所在地	販売拠点 東京、大阪、名古屋、福岡 生産拠点 福井、深谷、日光、小山 研究所 深谷

沿革

1910年	アルミニウム電線の研究を開始	2005年 4月	ユニファスアルミニウムを統合
1921年	ジュラルミンの研究試作を開始	5月	中国に現地法人古河(天津)精密鋁業有限公司を設立
1933年	栃木県日光市にアルミニウム製板工場が完成	12月	東京証券取引所第一部に上場
1961年	栃木県小山市に押出総合工場が完成	2006年 1月	ベトナムにFurukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.を設立
1964年12月	昭和電工(株)、米国カイザーアルミナム社、八幡製鐵(株)(現新日本製鐵)の3グループの合併によりスカイアルミニウム(株)設立	2007年 2月	ギリシアに合併でAFSEL S.A.を設立
1967年 4月	埼玉県深谷市に圧延工場が完成	2008年10月	韓国のCHOIL ALUMINUM CO., LTD. に資本参加
1968年 7月	滋賀県近江八幡市に押出専門工場が完成	2009年 3月	英国のBridgnorth Aluminium Ltd.に資本参加
1983年 5月	福井県三国町(当時)に板圧延工場が完成	2010年 1月	中国の乳源東陽光精箔有限公司に資本参加
1998年 1月	古河電工とスカイアルミニウムが、アルミニウム事業についての業務提携を開始	2月	タイ国にFurukawa-Sky Aluminum (THAILAND) Co., Ltd.を設立
3月	インドネシアにPT. Furukawa Indal Aluminumを設立	8月	中国に古河ス凱(上海)鋁材有限公司を設立
2000年 4月	古河電工とスカイアルミニウムのアルミニウム事業の販売部門を統合し、ユニファスアルミニウムを設立	2011年 8月	米国のアルミニウム板圧延製造販売会社の株式取得
2003年10月	古河電工とスカイアルミニウムのアルミニウム事業を統合し、古河スカイを設立	12月	中国に古河ス凱(無錫)鋁材加工有限公司を設立
12月	コイルセンター3工場を集約し、「ACE21」社を設立	2012年 3月	タイ国にアルミニウム板圧延工場の建設を開始
2004年10月	国内最大級の15,000トン熱間鍛造プレスが稼動	2012年 8月	2013年10月に住友軽金属工業(株)と経営統合することに合意

関連会社

- 株式会社ACE21
 - 乳源東陽光精箔有限公司
 - AFSEL S.A.
 - FSグリーンネット株式会社
 - 東日本鍛造株式会社
 - Bridgnorth Aluminium Ltd.
 - 株式会社エルコンボ
 - 古河カラーアルミ株式会社
 - Furukawa-Sky Aluminum (THAILAND) Co., Ltd.
 - 株式会社システムスカイ
 - 古河スカイ滋賀株式会社
 - Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.
 - スカイサービス株式会社
 - 古河ス凱(上海)鋁材有限公司
 - PT. Furukawa Indal Aluminum
 - 株式会社ニッケイ加工
 - 古河ス凱(無錫)鋁材加工有限公司
 - Tri-Arrows Aluminum Inc.
 - 株式会社ニッケイ工業株式会社
 - 古河スカイテクノ株式会社
 - 日本製箔株式会社
 - 古河(天津)精密鋁業有限公司
- (50音順・アルファベット順)



古河スカイ株式会社

〒101-8970 東京都千代田区外神田4丁目14番1号 秋葉原UDX12階
TEL:03-5295-3800(代表) FAX:03-5295-3760
<http://www.furukawa-sky.co.jp/>

